

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 4 月 日

計画の名称		宮古市における良好な水環境の実現																			
計画の期間		平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)				交付対象		宮古市													
計画の目標																					
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
① 下水道処理人口普及率を52.8% (H22) から59.3% (H26) に増加させる。																					
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考									
										当初現況値 (H22当初)				中間目標値 (H24末)		最終目標値 (H26末)					
① 宮古処理区の下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口／総人口（人）										52.8%		56.6%		59.3%							
												上段：計画		下段：実施							
全体事業費		合計 (A+B+C)		478.2百万円 478.2百万円		A		468.2百万円 468.2百万円		B		0百万円 0百万円		C		10百万円 10百万円		効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		2.1% 2.1%	
事後評価																					
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制										事後評価の実施時期											
										平成28年3月											
宮古市上下水道部内で実施										公表の方法											
										市のホームページに掲載											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A1 下水道事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
											H22	H23	H24	H25	H26						
6-A1-1-1	下水道	過疎	宮古市	直接	－	分流汚水	新設	汚水幹線及び枝線整備（未普及解消）	φ 300～φ 150 L=13.5km φ 300～φ 150 L=13.5km	宮古市						468					
6-A1-1-2	下水道	過疎	宮古市	直接	－	分流汚水	新設	効果的な事業実施のための基本的な計画検討	LAS測定 N=2検体×2箇所 LAS測定 N=2検体×2箇所	宮古市						0.2 0.2					
合計																468.2 468.2					
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
											H22	H23	H24	H25	H26						
合計																					
上段：計画 下段：実施																					
C 効果促進事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
											H22	H23	H24	H25	H26						
6-C1-1-1	下水道	過疎	宮古市	直接	－	分流汚水	新設	汚水枝線整備（未普及解消）	L=1.1km L=1.1km	宮古市						10 10					
合計																10 10					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
6-C1-1-1	基幹事業である幹線、枝線(6-A1-1-1)と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 効果促進事業と共に効率的に整備が進められ、宮古処理区（公共下水道）での生活環境の向上と、水質保全が図られた。				
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①下水道処理人口普及率 （宮古処理区）	最終目標値	59.3%		目標値と実績値 に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことができた。
		28,359	／	47,812		
		最終実績値	59.3%			
		28,359	／	47,812		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）						
3. 特記事項（今後の方針等）						
・ 公共下水道宮古処理区の面整備を引き続き行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。						